

論や共同研究、学生交流の活動が海を越えて口コミで広がっており、海外の第一線の研究者が自ら参加を希望してくれるだけでなく、国際的な共同研究への展開や優秀な留学生の獲得につながっています。

末筆ながら、本セミナーの開催にご支援いただきました肥後医育振興会の皆様に改めて厚く御礼申し上げます。今後ともご支援のほど、よろしくお願いたします。

日本蘇生学会第四十一回大会開催報告

日本蘇生学会第四十一回大会

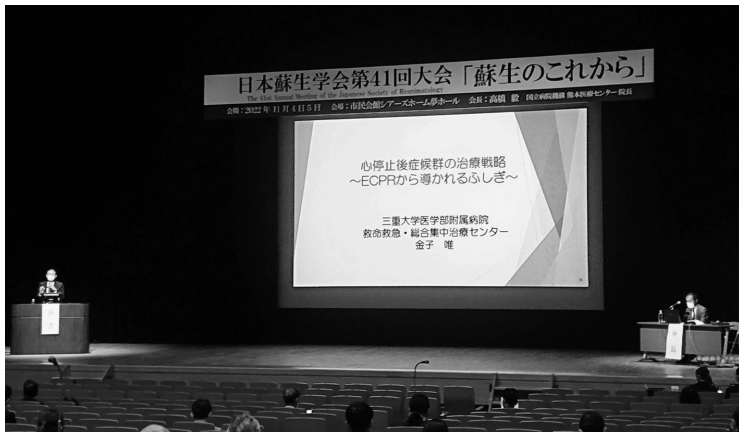
会長 高橋 毅

(国立病院機構熊本医療センター 院長)

この度、日本蘇生学会第四十一回大会を二〇二二年十一月四日(金)、五日(土)の二日間、市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市市民会館)にて開催いたしました。前年大会はWEBを主としたハイブリッド開催でしたが、新型コロナウイルス禍の狭間に、現地開催にて行い、お陰をもちまして多数のご参加をいただき、無事に学会を終了することが出来ました。関係各位の皆様格別のご支援とご協力の賜物と心より御

礼申し上げます

本学会は、熊本での開催は第三回大会以来の三十八年ぶりの開催でした。最近では「蘇生」という言葉は、狭義の「心肺蘇生」から広義に「復活」という意味で使用されており、そのような意味も含めまして、多職種の皆さまから、蘇生のこれからについて、様々なアイデアを発表していただき、様々と、大会テーマを『蘇生のこれから』としましたところ、多くのシンポジウム・一般演題の応募を頂き、実のある発表の場を設けることが出来ました。



また、新型コロナウイルス禍で、応募数は例年に比べて少なかったものの、学生を対象にした「特別企画 第四回心肺蘇生法普及動画コンテスト」も開催。「乳児もしくは小児の蘇生」をテーマとした一般向け心肺蘇生法の普及動画を募り、教本に出来るような素晴らしい内容の作品を学生たちの手で作成いただきました。

久方ぶりの対面形式の学会に、各会場での熱い討論を聴講することが出来、医師・看護師を始めとする医療関係者、及び、消防・防災・関連企業まで、多くの意見を交わす有意義な学会になりましたことをご報告させていただきます。

末筆ながら、本学術集會にご支援いただきました肥後医育振興会の皆様心より御礼申し上げます。今後ともご支援の程、よろしくお願ひ申し上げます。

第八十一回九州山口薬学大会報告

公益社団法人 熊本県薬剤師会

会長 富永 孝治

二〇二二年九月十八・十九日に、熊本城ホールで第八十一回九州山口薬学大会を開催いたしました。メインテー



マは「未来への礎 変化と再構築」です。

この大会は毎年九州山口各県の持ち回りで開催していますが、日本薬剤師会学術大会(全国大会)の開催や新型コロナウイルス感染症拡大による中止のため、今回の九州山口薬学大会は実に四年ぶりの開催となりました。

また、今回の大会は二〇一六年の熊本大地震で中止した第七十七回九州山口薬学大会熊本大会の仕切り直しの開催でもあります。熊本地震から五年以上が経過し、街並みからその傷跡はほぼ見えなくなりました。発災当初から全国、そして九州山口地区から幾度とな